

はちまんたい

No. 27
2012年(平成24年)
5月10日

議会だより



主な内容

- 3月定例会.....02
- 予算特別委員会.....05
- 一般質問.....10

(詳しい目次は 9 頁)

輝け、子どもたち⑧ -平館小-

平館小学校(葛西茂人校長、児童111人)では4月11日、交通安全教室が行われました。1年生14人と2年生19人は、交通指導員などが見守る中、左右をしっかりと確認し、手を上げて横断歩道を渡るなど、事故に遭わないための交通ルールを学びました。

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan

議案を審議



本会議初日に施政方針を述べる田村正彦市長(2月23日)

平成24年市議会第1回定例会（3月定例会）は2月23日から3月23日までの30日間市議会議場で開催されました。今回の定例会では、田村正彦市長が「施政方針演説」を行ったほか、4会派の代表および11人にによる一般質問、24年度一般会計当初予算をはじめとする議案審議などを行い、58議案を原案のとおり承認・可決しました（1議案は撤回）。このでは、3月定例会の主な内容を紹介します。

原案に同意

全会一致で可決

○職員懲戒審査委員会の委員の任命に関し同意を求めることがあります。

◎市長及び副市長の給与および旅費に関する条例、教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

現在の社会経済状況を勘案し、市長と副市長、教育長の給料月額を4月1日から25年9月30日まで3%減額(100円未満切り上げ)しようとするものです。

教育行政運営基本方針と重点演述

昨日3月11日に発生した東日本大震災により、計り知れないほどの多くのものを失いましたが、困難を乗り越え、今と未来を力強く生きていくための資質や能力および態度の育成が今、教育の現場に求められています。

市教育委員会としては、市総合計画の基本目標の一つに掲げた「健やかな、創造性あふれる人材のまちづくり」を基本に据えて、国、県の動静と呼応しながら、「八幡平市の次代を担う人づくり」を目指し、教育・文化的活動の充実に努めていきたいと考えています。

施政方針演述

市政の舵取りを担つて就任7年目を迎えるに当たり、24年度は総合計画後期基本計画の2年目として、当市の将来像「農と輝の大地」の実現のため、より具体的な施策に取り組んでいく「新たなまちづくりスタート」の重要な年度と捉えています。豊かな自然環境や観光資源などの貴重な資産を活用して新たな活力と魅力を創出し、市民・地域との連携・協働により魅力あるまちづくりを進めるとともに、足腰の強い行財政基盤の確立を目指していきます。

後期基本計画の5つの重点施策である「定住化の促進」「第一次産業の生産力向上」「大更駅周辺の賑わい創出」「合宿の里づくり」「滞在型観光の推進」の施策の推進を図るため、市議会議員の皆さんと力を合わせ、事業の大膽かつ着実な執行に誠心誠意取り組んでいきます。

◎八幡平市給水条例の一部を改正する条例

水道料金の算定基準を統一しようとすることです（4月1日施行）。

◎平成23年度八幡平市一般会計補正予算（第12号）

歳入、歳出それぞれ80

あり、目標値よりも低い約30%に低下した。

◎八幡平市友好都市交流促進センターほか43施設に係る指定管理者の指定について

4月1日から5年間、下の表のとおり指定管理者を指定しようとするものです

◎平成23年度八幡平市一般会計補正予算（第13号）

歳入、歳出それぞれ2722万50000円を増額するものです。歳出の主なものは次のとおりです（1円未満切り捨て）。

▼除雪業務委託料 250
0万円

問 この時期に除雪費が必要な根拠は。

■3月定例会で可決・決定した各施設の指定管理者(議決順)

施設名	施設所在地	指定管理者名称
友好都市交流促進センター	松尾寄木	市産業振興(株)
松尾憩の家	松尾寄木	市産業振興(株)
安代福祉センター	小柳田	社会福祉法人市社会福祉協議会
西根デイサービスセンター	田頭	社会福祉法人西根会
西根北部デイサービスセンター	堀切	社会福祉法人西根会
松尾デイサービスセンター	柏台	社会福祉法人みちのく協会
安代デイサービスセンター	丑山口	社会福祉法人安代会
生活支援ハウス	小柳田	社会福祉法人安代会
綿帽子温泉館	細野	市産業振興(株)
八幡平温泉館森乃湯	松尾寄木	市産業振興(株)
松尾八幡平物産館	柏台	市産業振興(株)
岩手山焼走り国際交流村	平笠	市産業振興(株)
自然休養村	松尾寄木	市産業振興(株)
安代林業センター	安比高原	市産業振興(株)
生産物直売所	大更	市産業振興(株)
自然休養村総合交流促進施設	松尾寄木	松っちゃん市場販売組合
農産物加工施設	松尾寄木	松尾果樹加工生産組合
細野地区農作業準備休憩施設	細野	豊畑公民館
星沢地区農村環境管理施設	星沢	星沢自治公民館
横間地区農作業準備休憩施設	打田内	八鶴白郷土づくり協議会
細野地区農村婦人の家	細野	細野自治公民館
苗代沢農村総合管理施設	谷地中	沢目地域推進協議会
いこいの村岩手体育馆	平笠	(有)タカ・コーポレーション
田山射撃場	矢神	市ライフル射撃・バイアスロン協
体育施設(西根地区体育馆ほか19施設)	田頭ほか	社団法人八幡平市体育協会

※指定期間 4月1日から29年3月31日までの5年間

請願3件を審査・発議案7件を可決

3月定例会では、継続審査としていた1件を含む請願3件（1件取り下げ）＝平館コミニティセンター新築に関する請願書）を審査し、1件を「趣旨採択」、1件を「採択」と決定したほか、議員発議で意見書などを7件を審議しました。

請願

教育民生常任委員会が審査

◎保険料の値上げに直結する国保「広域化」に反対する意見書採択を求める請願（請願者＝川県社会保障推進協議会ほか2団体）

昨年3月8日、6月22日、9月20日、12月13日、2月14日に審査し、継続審査としていたもの（保険税の値上げに直結する国保広域化することなどを求める内容）

▼審議結果 全会一致で趣旨採択

産業建設常任委員会が審査

◎大更松川地区の「市道森合線」と大更小学校につながる「市道中渡線」に通学用歩道を設置するよう求める請願（請願者＝大更・松村幸一郎）

▼審議結果 全会一致で採択

議員発議

※（ ）内は提出者

■東日本大震災からの復興のための東北地方高速道路無料化措置の延長に係る意見書

八幡平公園内・八幡平見返峠駐車場の無料化に係る意見書
■東日本大震災からの観光事業復興のための外国人観光客招致活動の強化に係る意見書
■東日本大震災による福島第一原子力発電所における放射能放出事故に係る主要作物以外の補償・損害額などについて調査の実施を求める要望書
(以上、東日本大震災支援特別委員会委員長・高橋光幸) 詳しくは、下の同特別委員会活動報告のとおり。
▼結果 全会一致で可決（意見書・要望書を国や県、市に提出）
■八幡平市議会委員会条例の一部を改正する条例（総務常任委員長・関善次郎）八幡平市行政組織条例等の一部を改正する条例（4月1日施行）に伴い、改正するもの。
▼審議結果 全会一致で可決
■保険料の値上げに直結する国保「広域化」に反対する意見書（教育民生常任委員長・小野寺昭一）
▼審議結果 全会一致で可決（意見書を国に提出）
■議会改革調査特別委員会設置（議会運営委員長・古川津好） 市議会の議会改革の調査や研究を行うために特別委員会を設置しようとするもの。

▼審議結果 全会一致で可決

東日本大震災支援特別委員会



2月9日に開かれた第4回特別委員会

支援に向けた調査を進め
意見書提出し活動終える

業復興のための観光客や宿泊客

の増加に重要な意味を持つ、東北地方の高速道路無料化の延長を求めるもの。

②東日本大震災からの復興のための十和田八幡平国立公園内・八幡平見返峠駐車場の無料化に係る意見書 現在有料である八幡平山頂の見返峠駐車場の無料化を求めるもの。

③東日本大震災からの観光事業復興のための外国人観光客招致活動の強化に係る意見書 現在有料である八幡平見返峠駐車場の無料化を求めるもの。

④東日本大震災による福島第一原子力発電所における放射能放出事故に係る主要作物以外の補償・損害額などについて調査の実施を求める要望書 損害賠償請求対象外の作物を調査し、請求に結び付けるよう求めるもの。

同委員会は、3月定例会最終日の3月23日、議会に調査や支援の報告を行い、活動は終りました。

予算特別委員会

24年度一般会計は 183億2,100万円

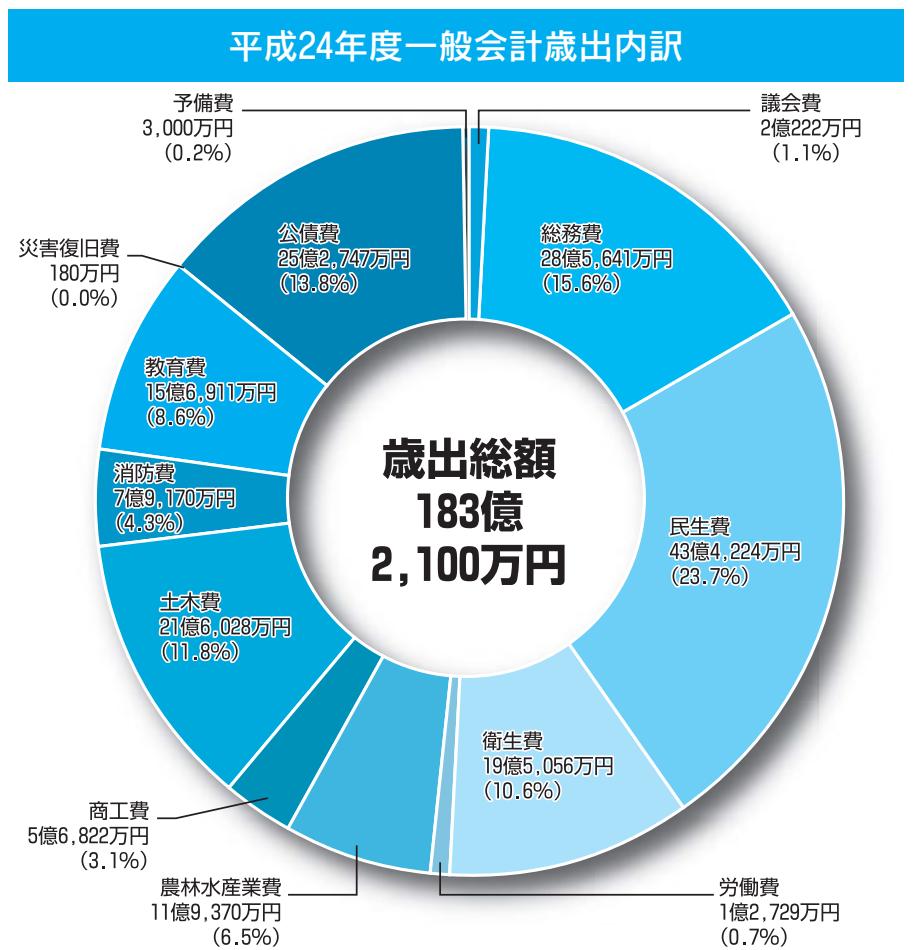
合併後最大・前年度比10億6,800万円(6.2%)増

予算特別委員会（関善次郎委員長、三浦侃副委員長）は3月12日から21日まで開催されました。この委員会は議長を除く全議員23人で構成し、平成24年度一般会計予算（総額183億2,100万円）のほか、特別会計7会計、企業会計2会計を審査しました。ここでは、予算特別委員会での主な質疑などを紹介します（9頁まで）。



4月1日付新採用職員の皆さん（医師を除く）。（前列左から）遠藤真理（市民課主事補）、田村夏海（税務課主事補）、工藤郁子（建設課技師）、工藤由果里（西根病院看護師）、小島節子（西根病院看護師）、（後列左から）澤口頼太（税務課主事補）、立柳大士（市民課主事補）、遠藤香織（寄木保育所保育士）、三浦典子（あしろ保育所保育士）、

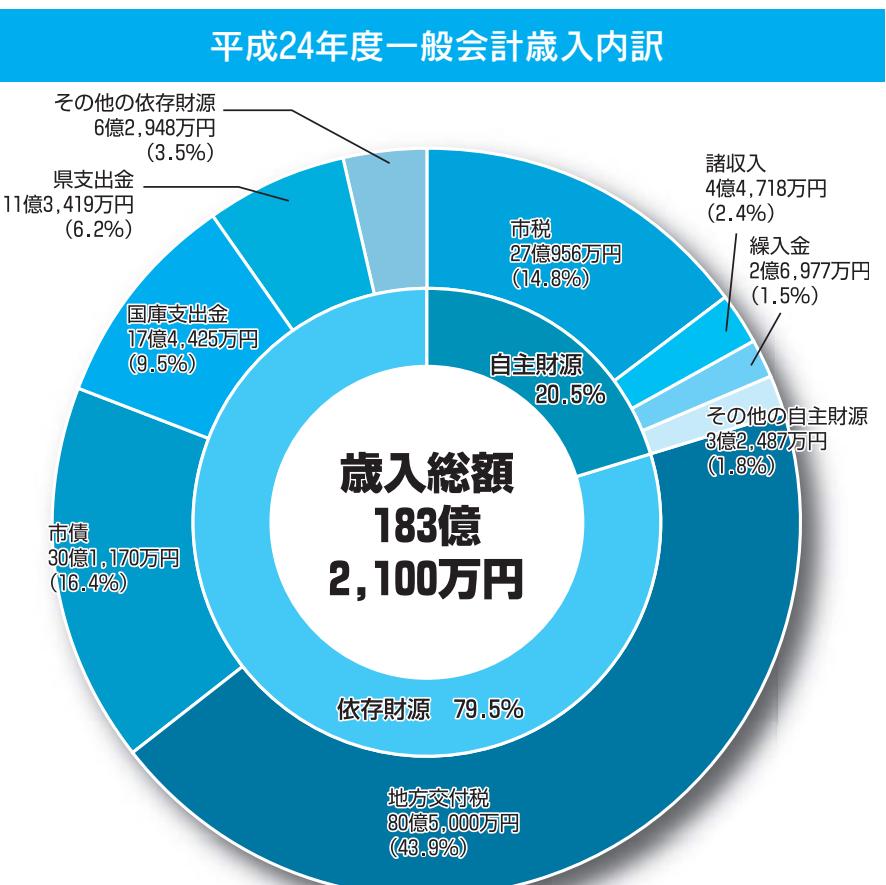
財政用語解説	
▷一般会計	税を主な収入源とし、福祉や教育など基本的な施策を行うための会計
▷歳入	市に入るお金
▷自主財源	市が自ら収入できる財源
▷市税	皆さんから納めていただいた市民税や固定資産税など
▷諸収入	預金利子や貸付金元利収入など他の科目に含まれない収入
▷繰入金	基金などから取り崩したお金
▷依存財源	国から定められた額が交付されたり割り当てられたりする財源
▷地方交付税	市の財政状況に応じて国から交付されるお金
▷市債	事業などを行うために国や金融機関などから借りたお金
▷国庫支出金・県支出金	特定の目的で国や県から交付されたお金
▷地方譲与税	国税として徴収したものをお市に譲与するお金
▷地方消費税交付金	地方消費税を県が人口や従業員数で案分して市に交付するお金
▷歳出	市が使うお金
▷議会費	議会活動の経費
▷総務債	庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などの経費
▷民生費	障がいのある人や高齢者への福祉の充実、子育て支援などの経費
▷衛生費	環境保全、疾病予防、健康増進などの経費
▷労働費	雇用対策などの経費
▷農林水産業費	農業振興、畜産振興などの経費
▷商工費	商工業や観光振興などの経費
▷土木費	道路や河川、公園などの経費
▷消防費	消防や火災予防などの経費
▷教育費	学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費
▷公債費	借り入れた市債を返済するための経費
▷災害復旧費	地震や大雨などの災害で被災した施設などを復旧するための経費
▷特別会計	保険税や使用料など、特定の収入で事業を行うために設ける会計
▷企業会計	水道や病院など、市が經營する事業収入で經營を行うために設ける会計



■■ 岁出のあらまし ■■

一般会計歳出の中で一番金額の多いものは、民生費の43億4,224万円(23.7%)、次いで総務費で、本年度着手する新庁舎建設の工事と合併市町村振興基金の増額により28億5,641万円(15.6%)、公債費の25億2,747万円(13.8%)などの順となっています。衛生費は、一般廃棄物処分場整備により前年度比27.4%増の19億5,056万円(10.6%)となっています。

歳出全体としては、庁舎建設事業が本格化することなどにより、23年度と比べ、10億6,800万円(6.2%)の増額となり、17年9月の町村合併以降で最大規模の予算となりました。



■■ 岁入のあらまし ■■

一般会計歳入の中で一番の割合を占めるのは、地方交付税の80億5,000万円(43.9%)で、次いで市債の30億1,170万円(16.4%)、市税の27億956万円(14.8%)などの順となっています。特に市債は、23年度と比べ、8億6,000万円(前年度比40%)の増加、逆に市税は、1億2,047万円(同4.3%)減少となっています。

歳入を財源別にみると、自主財源が20.5%(37億5,138万円)、依存財源は79.5%(145億6,962万円)となっていて、自主財源比率は23年度よりも2.5%低下しました。

問	小規模宿泊施設誘客対策事業委託料の内容は。	答	県事業を使い助成してきたが、今後も生産団体と協議し、必要に応じて要望成については。
問	上限50万円で、加工機械の購入経費などの2分の1を補助するものである。	答	上限50万円で、加工機械補助金は。
問	野菜振興の予冷庫の助成について。	答	6次産業促進支援事業
問	県事業を使い助成してきたが、今後も生産団体と協議し、必要に応じて要望成については。	答	どを助成するものである。
問	宿泊者1人につき、100円分の商品券を配布するものである。	答	宿泊者1人につき、100円分の商品券を配布するものである。
問	安代漆工技術研究センターを修了しても、地元に	答	塔を修了しても、地元に

■ 商工費

受け入れ先がない。今後の見通しは。

問	斎場の駐車場を増設する計画はないか。
答	見通しは。

■ 衛生費

問	介護保険料が月額1516円上がる理由は。
答	2回参加してもらうことを検討している。

■ 民生費

問	男女の人数に大きな差が出ないよう制限しているが改善できないか。
答	少ないときは、同じ人から2回参加してもらうことを2回参加してもらうことを検討している。

■ 農林水産業費

問	事業費補助金の内容は。
答	事業費補助金の内容は。

問	りんどう海外輸出支援事業と食文化継承・地域づくり推進事業の内容は。
答	事業は、学童保育クラブを拠点に子育て相談サービスや文化教育と地域連携触れ合い事業を開拓し、高齢世代の持つ子育て分野のノウハウを若年世代に継承していくものである。食文化継承事業は、世代間連携子育て推進事業と食文化継承・地域づくり推進事業の内容は。

■ 労働費

問	受け入れ先がない。今後の見通しは。
答	見通しは。

■ 教育費

問	学校給食で地元生産の食材はどれくらい活用されているか。
答	24年度は、解体撤去と設計を行い、25年度に6戸建てる予定である。

■ 土木費

問	市営仲町住宅の建て替えについて。
答	受け入れ先がない。今後の見通しは。

問	学校給食で地元生産の食材はどれくらい活用されているか。
答	24年度は、解体撤去と設計を行い、25年度に6戸建てる予定である。

■ 総務費

問	新庁舎建設の工事計画
答	3月に造成工事を発注し9月ごろ完成する。24年度は建物1階の基礎工事、25・26年度は全体の工事の

の発行額が多く、24年度は大型事業が重なり起債の発行額を引いたものが赤字になる。実質公債還額から市債償費の元金償還額から市債償費率が18%を超えないよう財政運営を支払いするようお願いしている。

答 未納者には子ども手当で支払いするようお願いしている。学校給食費の滞納防止の対応は。

答 22年10月の税率改正によるものである。

問 不動産公売7件、動産2件である。

問 明治百年記念公園小水力発電所の活用策は。

答 紹介するDVDを作成し小・中学校に配布している。現地見学で自然エネルギーの差し押さえ状況は。

問 光ファイバーの整備を進めたい。

答 採算面で進まない。昨年、柏台地区で調査したところ結果が出た。今後は、安代地区で調査を行う。

問 高台にある古いごみ焼却施設を取り壊して広げたいが、費用面で今は難しい。ほかの用地の確保についても、今後の課題である。

答 脳ドックの助成額に合わせて0円だつた助成額を人間1万円にした。

問 高台にある古いごみ焼却施設を取り壊して広げたいが、費用面で今は難しい。ほかの用地の確保についても、今後の課題である。

新生会

市産業振興(株)への市の関わりは

施設の譲渡など検討していく

田村議員 第三セクター等経営検討委員会の答申を受けての市の関わりは。

市長 三セクター等経営検討委員会では、観光や特産品を組み合わせることで、八幡平市が安心、安全な居住環境であることをPRする営業活動の展開や事業の見直しなど効率的な運営を進めたいと報告いただいた。市としては、関係機関などを協議し、施設の譲渡、指定管理などを検討したい。

田村議員 八幡平温泉郷の給湯管理について、早期の検証と見通しは。

市長 今後予想される多額の設備更新などについて、市内八幡平温泉郷給湯施設あり方研究会を設置し、市の産業振興への影響と施設やサービスが継続的に管理運営できることや市産業振興(株)と市の関与のあり方を検討し方針を考えたい。

関連質問



昨年5月18日に宮古市で行った八幡平市と名護市、滝川市との合同の炊き出し

名護市・滝川市と災害支援協定を

田村議員 友好都市である名護市や、滝川市をはじめとする名護市と姉妹都市である自治体との災害支援協定を検討してはどうか。

市長 東日本大震災のときに、本市と宮古市との友好関係から、名護市や北海道滝川市からは直接の友好協定や災害時応援協定がないにもかかわらず支援をいたしました。今後、友好都市それぞれの相互の意向を確認しながら協議、検討したい。

市税減少による市民生活の影響

各種施策で生活支援する

田村議員 24年度の予算是6・2%の増となり、4年連続の増加予算だが、一般会計歳入の市税は4・3%の減少となっている。市民の生活に多くの影響があると思うが、市長の考えは。

市長 一般会計歳入の財源としては、市税も大きな財源であるが、合併市町村だけが恩恵を受ける合併特例債の活用や昨年から取り組んでいる過疎債のソフト事業など、後年度に普通地方交付税の基準財政需要額に算入される有利な制度を活用している。

市税は、市の行政活動の裏付けとなる財源の中心であるが、合併以後、19年度の31億8466万円の市税を最高に、年々減少している。24年度当初予算では27億955万円と6年間で約4億7000万円の減少となつた。これは、人口の減少や世界経済の低迷による日本経済への波及など、全国の自治体が現在経験しているものが要因と認識している。また、24年度の予算編成では、景気低迷の影響と評価替えによる減価償却を見込んでいる。

市職員の人事は

田村議員 職員の人事についてはどうのように行っているのか。

市長 組織の活性化を図る一方で、資格を持ついる人や技術職のように専門的な職種の場合には長期にわたり同じ職場で仕事をし、その分野のスペシャリストとして市民の皆さん的生活を支援し、安全、安心なまちづくりを進めたい。

市職員の人事については、であります。また、多くの一般事務職員については、できるだけ多くの種類の事務をこなせるよう、定期的な人事異動でより多くの仕事を経験し、市職員としての資質を向上させていきたい。



有利な起債を使い、安全、安心なまちづくりに取り組みます
(写真=23年度に過疎債を活用して整備された消防車両)



田村 孝 議員

質問した事項

- ・24年度予算について
- ・市職員について
- ・八幡平市産業振興(株)について
- ・災害支援協定について
- ・[生活保護について]

関連質問



大和田順一 議員



高橋 守 議員

質問した事項

- ・議員報酬について
- ・TPP実施について
- ・外国人観光客の呼び戻しの方策について
- ・教育旅行の受け入れについて
- ・消防団について
- ・環境条例について
- ・〔自治集会所建設工事費補助金について〕
- ・〔スマートインターチェンジについて〕

関連質問



小野寺昭一 議員

環境基本条例の方向性は

基本計画に基づき施策を展開

- 高橋議員** 記者会見で、八幡平市が環境基本条例を制定する方針を示しました。この方針は、どのような方向性を持っていますか？
- 市長** 条例では、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を行うことを目標としています。
- 小野寺議員** 22年に制定した環境基本条例の制定後の状況と今後の方向性については。

八幡平市は、札幌市内の学校は22年度と同じ動きを見せており、東北と北海道内の両方への仮予約であり、飛行機利用が可能となつた震災後は、北海道と花巻空港を結ぶ便は50人乗りの小型機で、そのため多くの学校が東京方面に行くようになつた。大型機の運航を強く関係機関に働きかけていきたい。また、函館地区の学校は北海道内の旅行を計画していることから、引き続き誘客に向けて努力していく。

八幡平市の議員報酬は、月額で議長が35万1000円、副議長は28万4000円、議員は27万1000円であり、県内13市の中では、最も低いものである。

高橋議員 若者が政治の道を目指したとき、生活費など全ての費用を議員報酬に頼らなければならない。その場合の議員報酬はいくらが妥当なのか市長の見解は。

市長 議員報酬は自治体の財政規模や有権者数などを勘査して、市特別職報酬等審議会に諮り、答申をいただいている。現在の八幡平市の議員報酬は、月額で議長が35万1000円、副議長は28万4000円、議員は27万1000円であり、県内13市の中では、最も低いものである。

高橋議員 TPPが実施された場合、市役所の業務内容に変化はあるのか。

市長 公共事業への外国企業の参入の拡大が実施された場合、一般競争入札公告を英語によつて行う事務が発生する。混合診療の解禁では、公立医療機関の診療報酬明細書や国保関係の申請書類の見直し、金融サービスの緩和では地方債の発行手続きの見直しが行われる。

高橋議員 誘客可能な国に対する対して、観光大使を派遣してはどうか。

市長 現時点では考えていない。専門的な人たちから

る。労働力の自由化が進めば職員採用にも影響が出る。さらに、市が扱う全ての公式書類に英語を併記することで必要な人員や経費について試算できる状況ではない。



昨年の10月16日には取材で韓国の報道関係者が八幡平市を訪問しました

議員の報酬はいくらが妥当か

現在は県内13市で最も低い

八起会

教育旅行の問題
大型機を岩手へ

高橋議員 教育旅行の誘客が誘客には効果的と考えられるよう努めています。また、留学生や市内在住の外国人に、帰国したとき、八幡平市の宣伝をしてもらえるよう努めています。

市長 市長のトップセールスを実施すべきでは。外国人誘客に向けては、八幡平市の宣伝をしてもらえるよう努めています。

高橋議員 消防団員の減少により、分団の再編が必要と思われるが考えは。消防団員の減少に伴う地域防災の低下は、近年万3588人の減となって

消防団の再編
総合的に検討

八幡平市は3月に環境審議会へ諮詢し、諮詢どおり答申されたので、23年度内に策定された課題などを抽出した。府内検討委員会、計画策定検討委員会で協議を重ね計画案を策定した。この計画案は3月に環境審議会へ諮詢し、諮詢どおり答申されたので、23年度内に策定されることになつてている。

小野寺議員 消防団員の減少により、分団の再編が必要と思われるが考えは。消防団員の減少に伴う地域防災の低下は、近年万3588人の減となって



環境基本計画策定には4回にわたる検討委員会で協議を重ねました（写真=昨年5月16日に開催された第1回会議）

自由クラブ

新たな市民負担の可能性は

計画的な財政運営に努める

渡邊議員 合併市町村の地方交付税一本算定に向けて市財政の方向性と起債額の限界については。

市長 23年度は、男女それ

出会い支援事業 成果と課題は



昨年12月11日にいこいの村岩手で開催された「はちまんたい HAPPYカップリング」では見事3組のカップルが誕生しました（写真は一部加工しています）

関連質問

渡邊議員 震災前までの観光客の入り込み数よりも増やす努力をしてほしい。

市長 今後市民に対して市税など新たな負担の可能性はあるのか。

市長 市民に対する最低限必要な行政サービスを可能な限り維持するためにも、受益と負担の関係を明確化し負担を求めるべきものについては、市の負担を求めていくことの必要性について検討している。継続的に市民の皆さん的生活を支援しながら、まちづくりを開拓するためにも将来負担が過大にならないような計画的財政運営に努める。

市長 28年度から5年間で段階的に交付税額が減り、33年度から一本算定となる。公共事業などの臨時の経費や経常的経費も厳しく見直しを図り、予算規模の縮減に努めている。今後も地方交付税の基準財政需要額に算入される有利な合併特例債、比率などの財政指標に留意し事業の優先度合いや計画的な起債発行に努める。

市長 路線開設と林道予定延長は合わせて51キロメートル、路網などの整備計画は33年度から一本算定となる。誕生は3組、対象者を25歳から39歳とした2回目は2組、35歳以上を対象とした3回目は3組が誕生した。今後は見事カップルになつ

ぞれ定員15人とし、3回開催した。1回目のカップル誕生は3組、対象者を25歳から39歳とした2回目は2組、35歳以上を対象とした3回目は3組が誕生した。今後は見事カップルになつ

た人たちは、1日も早く結婚し、市内に定住することを望むとともに、年に3、4回のイベントは、引き続き実施し、市内の独身男女の出会いを応援していくことを期待している。修学旅行については、増加は見込めない状況なので、これからも一層誘致に努めたい。

土木林業課長 地震再生基金事業の活用で100万円の補助事業である。100万円の補助事業であれば、今後岩手北部森林管理署と協議して次事業も進めるべき。

土木林業課長 森林整備共同施業など、森林整備を積極的に進めたい。



岩手北部森林管理署、八幡平市、浄安森林組合との森林整備共同施業協定は昨年11月10日に結ばされました

管理署と協議し設定したい



関善次郎 議員

- 質問した事項**
- ・森林整備について
 - ・観光客および修学旅行の受け入れ見通しについて
 - ・財政について
 - ・出会い系支援事業について
 - ・[学校林について]
 - ・[教育改革について]

関連質問



渡邊 正 議員

観光客入り込み数増やす努力を

土木林業課長 地震後の観光客の補地を見つけて設定をするなど、森林整備を積極的に進めたい。

土木林業課長 全計画をやり遂げてほしい。事業などを活用しながら達成するように努力する。



伊藤一彦 議員

質問した事項

・施政方針演説について

耐震改修で子どもたちを守れ

計画に基づき早急に進める

伊藤議員 今後の雇用の創出が期待される地元農産物を活用した農商工連携や6次産業化で事業展開を図る地場企業の支援内容は。

市長 いわて6次産業支援センターと連携し、6次産業化や農商工連携に取り組みを希望する生産者などの活動に対して、事業の申請手続やプロのアドバイザーの派遣などを要請するなどの取組みを農政課、商工観光課で積極的に支援する。実績として3件の取り組みがある。

伊藤議員 23年に引き続き「住みたいがきつとある！子育てと癒やしのくらし」をキヤッチフレーズに市民の満足を高め、市民から住み続けたいと思われるまちづくりに努めるとあるが、定住化を考えても、市民が夢と希望を語り合えるかが重要と思うが見解は。

伊藤議員 今後の雇用の創出が期待される地元農産物を活用した農商工連携や6次産業化で事業展開を図る地場企業の支援内容は。

市長 いわて6次産業支援センターと連携し、6次産業化や農商工連携に取り組みを希望する生産者などの活動に対して、事業の申請手続やプロのアドバイザーの派遣などを要請するなどの取組みを農政課、商工観光課で積極的に支援する。実績として3件の取り組みがある。

伊藤議員 23年に引き続き「住みたいがきつとある！子育てと癒やしのくらし」をキヤッチフレーズに市民の満足を高め、市民から住み続けたいと思われるまちづくりに努めるとあるが、定住化を考えても、市民が夢と希望を語り合えるかが重要と思うが見解は。

伊藤議員 改修の現状と対策、震災復旧しているいな学校施設は工事中の西根中、24年度実施予定の西根第一中の校舎一部である。また、東大更小の校舎一部と田山中の校舎と屋内運動場があるが、こ



24年度に耐震改修が実施される西根第一中学校校舎



木造住宅新築、増改築への助成で市内の定住化促進を図るとともに、豊富な市産材を活用します

市産材使用で最大100万円助成

木造住宅の上乗せ助成とは

緑松会

万円、上限50万円を加算して最大100万円を助成する制度である。

伊藤議員 本質バイオマスエネルギーの積極的活用促進と市の施設での今後の活用とは。

コ

対策を図るため、市総合

後期計画で計画しているい

わて型チップボイラーオよ

びまきボイラーセットの検討

を進めるとともに、現在の

木質バイオマスエネルギー

利用設備普及促進補助によ

るまきボイラーセットの検討

地域振興計画策定後の支援は

まずは計画書づくりを！

立花安文 議員

質問した事項

- ・地域振興計画書策定後の具体的な支援策について
- ・安比高原ブナの二次林散策路出入口整備計画および中の牧場から奥の牧場までの道路整備計画について
- ・〔安比高原遊々の森づくりについて〕

立花議員 市内には11の地域振興協議会があるが、活動内容のマンネリ化などで苦労している協議会もある。どうすれば住みよい地域になるかを示し、活動目標となる計画書を策定してほしい。

立花議員 計画書策定時から支援内容を具体的に示してほしい。

立花議員 地域内で人材を養成をするのは難しいので、外部から派遣してほしい。

立花議員 市職員には、地域の要望があつたら、どんどん

立花議員 24年度に計画されている地域振興協議会がつくる地域振興計画書策定後の具体的な支援について伺う。

立花議員 安比高原ブナの二次林散策路の通称「児川グリーンライン側入口」に車がUターンできる場所の設置とブナの駅裏のアスナ

立花議員 沢川に架かる橋の改良計画について伺う。

立花議員 Uターン場所の設置

立花議員 安比高原ブナの二次林散策路の通称「児川グリーンライン側入口」に車がUターンできる場所の設置とブナの駅裏のアスナ

立花議員 沢川に架かる橋の改良計画について伺う。

立花議員 橋の改良は検討をする



日本の森林浴の森100選にも選ばれ、約100haの広大なブナの森が広がる
「安比高原ブナの二次林」

「調査・検討」の具現化を

説明責任は果たしたい



渡辺義光 議員

質問した事項

- ・議会答弁「調査・検討事項」の具現化について
- ・文化交流施設整備の早期実現について
- ・芸術文化の振興とまちづくり推進について

渡辺議員 議会での答弁（言葉）は、市長や教育長が公開の議会を通して市民に約束したものと考える。

私自身、これまでの一般質問で、6回、17項目にわたり川上行政の推進やまちづくり、人づくりなどについて提言した。「調査・検討」結果と具体化の考えを伺う。

市長 川上行政の推進は大切と認識している。小さいころからの命の大切さ、食生活、運動など学習機会の拡充と人・まちづくりを積極的に推進していきたい。

教育長 議会など公式の場での話は、市民と「約束したもの」と認識している。

渡辺議員 議員や市長、教育長は、まちづくりのパートナーで活発な議会議論を交わしてまちづくりを進めしていくことが肝要だ。市民憲章の推進運動などは、市民との一体感が広がるためトナーで活発な議会議論を実践していきたい。

渡辺議員 昨年の12月定例会で、市芸術文化協会や市婦人会連絡協議会から請願があつた文化交流施設整備の早期実現が採択された。

立花議員 総合計画後期基本計画には多目的文化交流施設整備が計画されている。今後どのように構想していくか。

教育長 大更駅周辺および隣接地域のまちづくり環境整備基本計画の素案がまとまり、その中には文化施設も想定されている。具体的

な基本構想、基本計画などを作成する作業は市民の意見を反映し、内部で調整していく。

市長 文化ホールの必要性は、痛切に感じている。有効性のあるものにするため市民との意見交換や建設に向けて組織の立ち上げなど、対話を通じて考えていかなければならない。

渡辺議員 東日本大震災復興の心の支えとなつたのは芸術文化や郷土芸能である。音楽や芸能活動をまちづくりにどう活かす考え方か。

教育次長 教育委員会の枠を超えて対応を強化していかたい。

渡辺議員 議会での答弁（言葉）は、市長や教育長が公開の議会を通して市民に約束したものと考える。

私自身、これまでの一般質問で、6回、17項目にわたり川上行政の推進やまちづくり、人づくりなどについて提言した。「調査・検討」結果と具体化の考えを伺う。

市長 川上行政の推進は大切と認識している。小さいころからの命の大切さ、食生活、運動など学習機会の拡充と人・まちづくりを積極的に推進していきたい。

教育長 議会など公式の場での話は、市民と「約束したもの」と認識している。

渡辺議員 議員や市長、教育長は、まちづくりのパートナーで活発な議会議論を交わしてまちづくりを進めていくことが肝要だ。市民憲章の推進運動などは、市民との一体感が広がるためトナーで活発な議会議論を実践していきたい。

渡辺議員 昨年の12月定例会で、市芸術文化協会や市婦人会連絡協議会から請願があつた文化交流施設整備の早期実現が採択された。

立花議員 総合計画後期基本計画には多目的文化交流施設整備が計画されている。今後どのように構想していくか。

教育長 大更駅周辺および隣接地域のまちづくり環境整備基本計画の素案がまとまり、その中には文化施設も想定されている。具体的

な基本構想、基本計画などを作成する作業は市民の意見を反映し、内部で調整していく。

市長 文化ホールの必要性は、痛切に感じている。有効性のあるものにするため市民との意見交換や建設に向けて組織の立ち上げなど、対話を通じて考えていかなければならない。

渡辺議員 東日本大震災復興の心の支えとなつたのは芸術文化や郷土芸能である。音楽や芸能活動をまちづくりにどう活かす考え方か。

教育次長 教育委員会の枠を超えて対応を強化していかたい。



各種芸能発表会では、ござに座って舞台を楽しむ人の姿が見られます

芸術文化を生かしたまちづくり推進策は



渡辺義光 議員

質問した事項

- ・議会答弁「調査・検討事項」の具現化について
- ・文化交流施設整備の早期実現について
- ・芸術文化の振興とまちづくり推進について



工藤 剛 議員

土曜日授業への考え方

基本は週5目制のままで

工藤議員 現在の教育課程では、実質的に教師に余裕が出来なくて詰め込み授業になつたり、子どもたちとゆつくり向かい合つて話が出来なかつたりすることが懸念される。総合的に検討が必要と考えるがどうか。

教育長 教師にゆとりが少なくなっているのはそのとおりで、各学校でそれぞれ状況に合わせて取り組んでいる。

武道科目の安全性

工藤議員 来年度から中学
校で必修となる武道につい



市内でも土曜日に授業を行う学校が出てきています
(4月14日(土)に行われた安代小学校の授業参観=安代小学校提供=)

工藤議員 23年度の市営建
設工事の落札率を伺う。
市長 109件の入札を行
い96件が落札した。落札率
は99・94%から77・77%ま
で、平均90・75%である。
工藤議員 市のシンボルと
もいすべき庁舎は、地域の
活性化を含めて地元の業者
に造つてもらいたいと思う
が、入札方法はどのように
考えているのか。
市長 現段階では未定だが、
地元効果が高まるような発
注方法を模索していく。

ヒューマンアート

教育長 3ヶ月を超える病気休暇に対しても、1週間程度で新たな教師を配属できるので授業への心配は少なくなった。ただ、児童生徒や保護者からの相談となると、担任の代わりとならない部分もある。

最終的な変更後の設計書を
つくつて変更契約を締結す
る方法になる。

今後は各担当者でチエツクできるような形で体制をつくつて行く考え方で進めていきます。

高橋議員 落札後の増額変更、水増し防止策、外部からのチェック対策が必要と思われるがその考えがあるのか。
財政課長 今はチェックリストはつくっていないが、

度は年度途中であるが95件中53件の変更があり、増額金額は1億8273万円となつており、落札できなかつたた業者からのクレームなどはなかつたと聞いて

**建設工事落札後の
増額変更へ対策は
的には19日から本焼却を予
定をしている。**

被災地のがれきの受け入れは 久慈市分を焼却処理する



3月12日から16日まで久慈市から搬入された
災害廃棄物の試験焼却が行われました

建設工事落札後の増額変更へ対策は
的には19日から本焼却を予定をしている。

被災地のがれきの受け入れは 久慈市分を焼却処理する

建設工事落札後の増額変更へ対策は
的には19日から本焼却を予定をしている。

度は年度途中であるが95件中53件の変更があり、増額金額は1億8273万円となつており、落札できなかつたた業者からのクレームなどはなかつたと聞いて

はちまんたい 議会だより 平成24年5月 No.27 22

国保税の不足は全額一般会計で

新年度から1億円を増税したい



高橋悦郎 議員

質問した事項

- ・国民健康保険税(国保税)の引き上げについて

高橋議員 国民健康保険税の引き上げを提案しているが、賛同できない。国民健康保険(以下「国保」)加入世帯の所得が年々減少しているときに、増税は避けるべきだ。市民の所得状況はどうなっているのか。

税務課長 市民が申告した資料によると、5年前の所得は50万円以下の世帯は、国保加入全体の60%に達している。所得150万円以下だと全体の84%を占める状況である。

高橋議員 24年度から国保税の引き上げとともに、65歳以上の介護保険料を38%引き上げ、さらに松尾地区では水道料金の引き上げなど、増税のオンパレードとなっている。これ以上の市民負担は避ける立場から、



市民が安心して医療を受けるために24年度から国保税の引き上げが行われます



市民の「足」として市内を走るコミュニティバス
4月からは西根・松尾地区でも本格運行が始まりました

効率のよい実施に向け検討



古川津好 議員

質問した事項

- ・公共交通について
- ・博物館などの再編について
- ・観光への取り組みについて

公共交通体系の整備は

古川議員 コミュニティバスは、マイカーのない市民には好評だが、各路線が長かつたりするなど、改善を望む声も聞こえる。見直しをする考えはないか。

市長 現在3台のバスで6路線を運行している。要望へ対応すると運行経費の割高や単年度での大幅な変更による利用者への混乱を与えることが想定される。市の公共交通会議で意見を聞き改善に努めたい。

古川議員 コミュニティバスやスクールバス、営業路線バスが重複して市内交通網をカバーしている現状を今後どうする考えか。

市長 患者輸送バスや廃止代替えバス路線などを再編して運行しているので、事業費の増額や登下校に合わせたダイヤの改正が課題である。

市長 患者輸送バスや廃止代替えバス路線などを再編して運行しているので、事業費の増額や登下校に合わせたダイヤの改正が課題である。コムニティバスとスクールバスの統合については、事業費の増額や登下校に合わせたダイヤの改正が課題である。

古川議員 コミュニティバスは、マイカーのない市民には好評だが、各路線が長かつたりするなど、改善を望む声も聞こえる。見直しかつたりするなど、改善を望む声も聞こえる。見直しをする考えはないか。

市長 現在3台のバスで6路線を運行している。要望へ対応すると運行経費の割高や単年度での大幅な変更による利用者への混乱を与えることが想定される。市の公共交通会議で意見を聞き改善に努めたい。

博物館の再編統合

古川議員 以前質問した博物館の再編統合は、その方向性や考え方が始まつたか。そして、今後の進め方と進ちょく状況はどのようになつてゐるか。

教育長 素案ですが、現在の博物館は中心施設として

古川議員 震災の影響で大きく落ち込んだ観光客数を回復させるために取り組む「東北観光博覧会」やいわてデステイネーションキャンペーンへの取り組みはどうになっているのか。

市長 ことしの観光入り込み客は375万人を目標にしている。「一人一人がおもてなし!あなたもわたしも『わんこきょうだい』」のおもてなし運動を市民へ伝えていきたい。

観光イベントへの対応

古川議員 充當という会計処理をし、実際の決算結果を見てから判断をするべきだ。予測で増税するべきでない。他の自治体でも取り入れている。

副市長 繰越充當は借金の先送りになる。異常事態が発生したとき以外では、繰越充當しないのが基本的な財政運営と考えている。

国保特別会計の不足額3億円は、全て一般会計から繰り入れることが想定される。市の公共交通会議で意見を聞き改善に努めたい。

古川議員 以前質問した博物館の再編統合は、その方向性や考え方が始まつたか。そして、今後の進め方と進ちょく状況はどのようになつてゐるか。

教育長 素案ですが、現在の博物館は中心施設として

一般会計から法定外の繰り入れをし、1億円を市民が負担するのをご理解いただきたい。

高橋議員 市民負担を回避するため最大限努力する立場からの提案をしたい。今回税率の引き上げはしないで、仮に国保会計に赤字が出た場合、翌年度への繰越

展示の充実を図り、松尾歴史民俗資料館は松尾鉱山を前面にして観光分野と連携する。西根歴史民俗資料館は民俗や農具を集約して地域色を生かす方向で検討を進めている。また収蔵品の登録管理を進めており全体の9割を終えた状況である。

無会派

米田定男(日本共産党)
高橋悦郎(日本共産党)

2つの大きな子育て支援策

米田定男、高橋悦郎の日本共産党市議
2人は2月7日、埼玉県滑川町を視察し
ました。視察の目的は、全国的にも優れ
た「幼稚園、保育園から中学生までの給
食費無料化」と「高校生までの医療費無
料化」施策について学ぶことでした。

◎財政力指数0・9以上で人口増加続く



埼玉県滑川町役場(2月7日)

驚いたのは、町の財政基盤の強さです。
平成21年度決算では、歳入総額81億20
00万円のうち、地方交付税はわずか1
億2000万円でした。また、人口増加
が続いており、人口増加率は県内2位、
出生率は県内1位で、22年には新しい小

学校も開校しました。これらの背景が子
育て支援策を充実させる一つの要素と
なったのは確かです。
◎明確な位置付けと住民の立場に立った
施策の運用

給食費の無料化は「教育費に対する経
済的支援で、町が取り組むことができる
最も効果的な支援策」として位置付けら
れています。そして、より多くの子育て
家庭が平等・公平に支援を受けられるよ
う、幼稚園・保育園まで範囲を設定して
います。また、医療費無料化については、
小学校卒業まで対象だったものを20年に
中学校卒業、23年には高校生まで拡大し
ました。

その大きな目的のひとつが、若い世代
の定住化の促進です。実際の運用でも、
医療費では窓口負担を廃止し、その対象
を隣の熊谷市の医療機関まで拡大してい
ます。また、これららの施策については、
たとえ保護者が町税などの滞納があつて
も、全ての子どもを対象にしています。

これらの施策を全て当市が取り入れる
ことは難しいですが、大いに参考にすべ
き事例です。

無会派

北口和男(公明党)

議会活動の在り方を考える

北口和男議員(公明党)は2月4、5
の両日、「多摩研 第10回 議員の学校
～新年度予算の動きと地方自治体の政策
課題～」(NPO法人多摩住民自治研究所
主催)を受講しました。この研修には全
国から約80人が参加しました。

◎第1講「2012年度の国家予算と地
方財政の焦点」

2012年度の国の予算は国債が3年
連続で収支を上回っている事が続いて
います。東日本大震災に係る復興復旧の
特別会計でも約3兆7800億円が計上
されていることから、国全体で復興を支
持する必要があります。

平成12年から17年まで国民所得は増え
ているにもかかわらず、賃金は下がり、
不況でも企業の利益が増大する構造が形
成されました。日本の社会保障は伸びて
いるように見えますが、年金と医療が中
心でそれ以外は少ない状況。国際的に見
て比較しても1人当たりの社会支出は、
世界の模範とされているスウェーデンを
100とした場合、日本は57までしかな
いということでした。

◎第2講「税、社会保障一体改革をどう
考えるか」

平成12年から17年まで国民所得は増え
ているにもかかわらず、賃金は下がり、
不況でも企業の利益が増大する構造が形
成されました。日本の社会保障は伸びて
いるように見えますが、年金と医療が中
心でそれ以外は少ない状況。国際的に見
て比較しても1人当たりの社会支出は、
世界の模範とされているスウェーデンを
100とした場合、日本は57までしかな
いということでした。

◎第3講「自治体財政の現実と自治体・
議会の政策活動の発展」



多摩住民自治研究所(2月5日)

市町村合併により、自治体規模が大き
くなる一方で、都市化の進行により人口
が集中しています。議員一人一人が多く
の住民の声に耳を傾け、議会活動に生か
すよう努めることが必要と感じました。
各講義とも、国内の指標や外国との比
較がなされ、日本の方向性、特に地方の
あり方などを知ることができました。

議会の動き(1月18日から4月24日まで)

1月

- ▶18日 議会運営委員会、市議会第1回臨時会、政務調査会臨時総会
- ▶19日 県市議会議長会臨時総会(～20日)
- ▶23日 議会広報特別委員会
- ▶31日 議会運営委員会

2月

- ▶1日 東日本大震災支援特別委員会産業建設小委員会、全国市議会議長会基地協議会第75回総会
- ▶2日 広域行政圏市議会協議会第43回総会
- ▶3日 盛岡北部行政事務組合議員全員協議会、全国高速自動車道市議会協議会役員選考会、正副会長・監事・相談役会議
- ▶4日 無会派(北口和男議員)研修(～5日)
- ▶6日 新生会会派研修(～7日)
八起会会派研修(～8日)
- ▶7日 無会派(米田定男議員、高橋悦郎議員)研修
- ▶9日 議会全員協議会、東日本大震災支援特別委員会、東日本大震災支援特別委員会産業建設小委員会、政務調査会臨時総会、栃木県真岡市議会会派「夢ネット21」行政視察来庁

- ▶16日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会、盛岡地区広域消防組合議会委員消防行政視察研修(～18日)
- ▶17日 議会運営委員会、盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会
- ▶20日 全国高速自動車道市議会協議会第2回理事会、第38回定期総会
- ▶22日 盛岡地区広域消防組合議会定例会2月
- ▶23日 市議会第1回定例会(～3月23日)

3月

- ▶1日 新生会会派研修
- ▶2日 議会全員協議会、議会運営委員会
- ▶7日 議会広報特別委員会
- ▶8日 議会全員協議会
- ▶9日 総務常任委員会、産業建設常任委員会
- ▶12日 予算特別委員会(～14、19、21日)
- ▶19日 教育民生常任委員会
- ▶21日 議会運営委員会、教育民生常任委員会
- ▶23日 議員全員協議会
- ▶30日 議会広報特別委員会

4月

- ▶10日 議会運営委員会
- ▶13日 県市議会議長会定期総会(～14日)
- ▶19日 東北市議会議長会定期総会(～20日)
- ▶24日 議会広報特別委員会

6月定例会の日程(予定)

平成24年市議会第2回定例会(6月定例会)は、次のとおり開催されます。

■会期【予定】 6月15日(金)から22日(金)まで(土・日曜日は議案思考のため休会となります)

詳しい日程が決まり次第、市議会ホームページ(八幡平市ホームページ内)に掲載しますので、ご覧ください。

■場所 市議会議場(市役所本庁舎3階)
※傍聴を希望する人は、議会開会日当日、議会事務局までおいでください。

詳しくは、議会事務局(☎76-2111、内線1322)まで問い合わせください。

クイズ

問 ○の中には、どんな数字(文字)が入るでしょう?

- ①3月定例会で、採決結果の賛否の分かれた議案数は○議案
②新生会が視察研修で訪れた山形県東根市にある保健福祉と子
育て支援の複合施設は「○○○○○タントクルセンター」

応募方法

はがきかFAX、Eメールに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年
齢、議会だよりを読んだご感想、市議会へのご意見・ご要望など」
を記入の上、議会事務局まで応募ください。正解者の中から抽選で
5人に1,000円分の「八幡平市共通商品券」をお贈りします。※お寄
せいただいた個人情報は、このクイズに関わるもののみに使用します。

あて先

〒028-7192(住所不要)八幡平市議会事務局 議会だより係
FAX: 0195-76-2980
Eメール: gikai@city.hachimantai.lg.jp

締切日

平成24年6月8日(金)

前回(No.26)の正解

- ①11 ②議会基本
応募者 25人 正解者19人
当選者(敬称略) 佐々木瞳(大更)、田村寿子(大更)、田村賀津子
(野駄)、工藤キミ(田頭)、佐々木真由美(田頭)

▼市長公室副主幹兼秘書室 事務局長	▼松尾総合支所長兼地域振興課 課長	▼主事北口拓也(前総務)	▼事務局長鈴木伸也(前)	○議会事務局人事異動 (4月1日付)
渡辺信(前議会事務局副主幹兼秘書室事務局長)	高橋三夫(前議会事務局長)	鈴木伸也(前)	鈴木伸也(前)	



先人から受け継ぐ(8) 田山先祓い

田山先祓いの由来は定かではありませんが、承平3年(933)に、御祖長根のふもとに祠を建立し、稻荷神を祭り、天下泰平や五穀豊穣などを祈願した田山左近をしのび、永正4年(1507)に行われた祭りで、左近の姿を再現して舞われたものと言われています。

田山稻荷神社の祭礼（旧暦6月15日、

現在は7月第3土・日曜日）のときには、前の晩は神社から田山公民館まで、祭礼当日は田山公民館から地区内を練り歩き神社に戻るまで、神輿行列の先頭で地区的子どもたちによって踊られています。

◎保存会代表 安保勝廣さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和52年4月6日（旧安代町指定）



現在のメンバーで委員会を結成してから2年が経ちました。その間、議会の様子や議員の活動内容を皆さんに分かりやすく、「伝えることができる」「議会だより」を心掛けてきました。読んでいただいた皆さんに感謝申し上げ、任期中最後の「あとがき」をやめていただきます。ありがとうございました。

■議会広報特別委員会

委員長 伊藤一彦（前列中央）
副委員長 渡邊正（前列左）
委員 三浦侃（前列右）

高橋悦郎（後列中央）
大森力男（後列左）
立花安文（後列右）

あとがき

